

大学院理工学研究科（工学系）の教育ポリシー

1.人材養成の目的

工学系は、人類と社会の持続的発展に貢献するために、理工融合の卓越した学術・技術を創生するとともに、透徹した論理能力と最新の技術・思想についての深い洞察、国際的な情報発信力を備え、確固たる倫理観に基づいて、世界を先導する人材を育成します。

2.教育目標

「人類と社会の持続的発展に貢献する独創性に優れた工学的叡智の伝承と創造により理工融合の卓越した学術・技術そして人材の創出」を基本理念（http://www.eng.titech.ac.jp/general/philo&chart_b.html）としています。この理念に沿って、次のような全学で定めた人材の養成および能力の修得を教育目標としています（<http://www.titech.ac.jp/about/activity/policy.html>）。

修士課程

養成する人材像

科学・技術の専門家として、幅広い視野をもち、グローバル社会で活躍できる人材

修得する能力

- ・問題の多面的な理解に必要な幅広い専門学力
- ・確かな専門学力に基づく実践的な問題解決力
- ・科学・技術に関する知識を自在に応用し、倫理観をもって創造的な研究・技術開発を行う力
- ・理工学の深奥を究めようとする探求力
- ・国際的に通用するコミュニケーション基礎力
- ・多様な考え方をまとめ、新たな方向性を見出す力

博士後期課程

養成する人材像

国際的に通用するリーダーとして、豊かな国際社会の実現に向けて科学・技術のフロンティアを開拓・牽引できる人材

修得する能力

- ・国際的に通用するリーダーシップを発揮する力
- ・体系化された幅広く深い知識をもとに、新たな知見を創造・発信する力
- ・本質・普遍性を見抜き、新たな課題を発見・探求する力
- ・高い見識と倫理観のもとに知のフロンティアを先導する力
- ・理工系分野と人文学や社会科学などの知見を有機的に結びつけ、活用する力

3.入学者に求める能力と適性

工学系の各課程では、人類と社会の持続的発展に貢献しようとする次のような全学で定めた能力と適性をもつ人材を求めます（<http://www.titech.ac.jp/about/activity/policy.html>）。

修士課程

- ・理工系基礎学力を有し、それに基づいて論理的に思考し、表現できる
- ・豊かで幅広い知識を有し、様々な視点から多面的にものごとを捉えることができる
- ・国際的な視野から研究・技術開発を進めるために必要な語学力を有している
- ・未知の世界に果敢に挑む旺盛な研究意欲を有している

博士後期課程

- ・問題の多面的な理解に必要な幅広い専門学力、およびそれに基づく実践的な問題解決力を有している
- ・専門分野の知識に新しい知見を加えて、自在に活用できる
- ・国際的に通用するコミュニケーション基礎力を有している
- ・高い志で知のフロンティアを自ら開拓する強い意欲を有している